

小専社会第3回「地理院地図で見る身近な地域の変遷」の作業内容と手順

○作業内容：PCで地理院地図の空中写真を見て、柏原市の遷り変わりを読み取り、年表を作成する。そして、それを基に、2つの質問に答える。

○手順：

①別紙の表1に記した12の事象について、作られた年次を予想して、古い方から順番を表1の最も右の列に記す。

①PCのブラウザで「Google Earth 見る地図教材のページ」を開いて、「地域学習」とある緑のボタンをクリックして、「柏原市南部」とある紫のボタンをタップすると、「地理院地図」が表示される

②開いた柏原市の地理院地図には、赤い点が12示されているが、ラベルが示されていないので、次のようにして、ラベルを表示する。まず、画面右上部にある「機能」をクリックして、「ツール」「作図・ファイル」をクリックすると、「作図・ファイル」ウインドウが表示されるので（図1）、「新規作図情報」の右下にある「アイコンのラベルを表示」左の○をクリックする。そうすると、赤い点の下に、地名を表すラベルが表示される。



図1

③表示された地理院地図の空中写真を、次の④に記すように、異なる年次に撮影されたものに表示を切り替えることで、12の赤い点で示した事象が、どのように遷り変わってきたかを調べて、次ページの表1に記入する。

④異なる年次に撮影された空中写真に表示を切り替えるには、画面左中上部にある「情報リスト」ウインドウを操作する。「情報リスト」に示された各年次は、空中写真の撮影年次を表しており、クリックした年次の空中写真が表示される。もう一度クリックすると非表示になる。

⑤「情報リスト」ウインドウが邪魔な場合は、ウインドウの右上の×をクリックしたら消える。「情報」ボタンをクリックすれば、再び「情報リスト」ウインドウが表示される。

白黒空中写真での植生の判読

